

「健康日本 2 1 あいち新計画」の計画期間の延長等について

1 経緯

- 自治体と保険者による一体的な健康づくり政策を実施するため、**医療費適正化計画等の計画期間と国の健康日本 2 1（第二次）に続く次期プランの期間を一致させることを目的**とし、令和 3 年 8 月 4 日に「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」（以下、「指針」とする。）の一部改正が行われた。
- 指針の一部改正により、「平成 25 年度から令和 4 年度まで」とされている**「国の健康日本 2 1（第二次）」の計画期間が、令和 5 年度まで、1 年間延長されることとなった。**（ただし、計画の目標に係る年及び年度については、延長に伴う変更は行わない）
- 令和 3 年 8 月 4 日付け厚生労働省健康局長通知『国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の一部を改正する件』及び次期健康増進計画策定作業等についてにより、都道府県知事、市町村長宛てに、次期健康増進計画策定に向けて、以下のとおりスケジュール等が示された。
 - ・ 令和 4 年夏頃：国の健康日本 2 1（第二次）最終評価報告書の作成
 - ・ 令和 5 年春頃：国の次期プランの公表
 - ・ 令和 5 年度中：都道府県等は、国の次期プランを勘案しながら、次期健康増進計画の策定準備を行う
 - ・ 令和 6 年度：次期計画スタート
 - ・ 計画期間延長により、目標を再設定する必要はなく、従前より設定している目標の達成に向けた取組を継続すること

2 本県の対応

- 「平成 25 年度から令和 4 年度まで」としている**健康日本 2 1 あいち新計画の期間を 1 年間延長し、「平成 25 年度から令和 5 年度まで」とする。**
- なお、**健康日本 2 1 あいち新計画の目標指標に係る年及び年度については、健康日本 2 1 あいち新計画の延長に伴う変更は行わず、従前から設定している目標の達成に向けて取組を継続する。**
- 健康日本 2 1 あいち新計画の計画期間の延長については、関係機関に周知を行い、目標達成に向けての引き続きの取組の実施・協力を依頼する。

（参考）健康日本 2 1 あいち新計画の目標達成状況

- ・ 計画期間の中間年度である平成 29 年度に、全 123 指標について中間評価を実施

中間評価結果

中間評価の状況	指標数	割合
目標達成	11	8.9%
策定時より改善	61	49.6%
変化なし	17	13.8%
策定時よりも悪化	20	16.3%
国調査の未実施等により判定ができない	14	11.4%
計	123	100.0%

- ・ 中間評価により、目標を達成した指標等を見直し、120 指標に整理して、計画を推進中(令和 2 年度末までの進捗状況は、別添のとおり)

<本県の次期健康増進計画策定に向けたスケジュール（案）>

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
最終評価に向け取組状況のまとめ・各種調査等の実施	←→		
最終評価	←→		
計画策定		←→	
計画期間	←→ 健康日本 2 1 あいち新計画		←→ 次期計画

3 その他

国からは、健康日本 2 1（第二次）と関連の深い「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」についても、今後、計画期間を延長し、健康日本 2 1（第二次）と整合性を保たせると説明があり、それに伴い、本県の「愛知県歯科口腔保健計画」の計画期間についても延長も予定しています。

「健康日本21あいち新計画」目標指標一覧

【指標数合計:120】

別添

※ 目標値は、令和4年度の値。目標値欄にカッコ書きは、他計画との整合性を保つために、個別に目標年次を設置しているもの。
 ※ 目標指標が令和2年度までの設定になっている指標についても、目標年次は変えず、取組を継続していく。

1 基本目標

健康長寿あいちの実現

【指標数:2】

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
健康寿命(愛知県分)の延伸	男性	71.74年 (全国1位)	平成 22年	73.06年 (全国3位)	平成 28年	75年以上
	女性	74.93年 (全国3位)		76.32年 (全国1位)		80年以上

2 基本方針

(I) 生涯を通じた健康づくり

【指標数:1】

指標	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
健康的な生活習慣を送っていると思う者の割合の増加(40~64歳を対象とし、65歳以上の結果である8割を目指す)	63.6%	平成 24年	63.2%	平成 28年	80.0%以上

(II) 疾病の発症予防及び重症化予防

① がん

【指標数:8】

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)-男女	男性	92.4	平成 27年	85.2	平成 30年	83.2以下 (令和5年度)
	女性	59.5		54.9		56.5以下 (令和5年度)
がん検診受診率の向上 胃がん検診(40~69歳) 肺がん検診(40~69歳) 大腸がん検診(40~69歳) 子宮頸がん検診(20~69歳) 乳がん検診(40~69歳)	胃がん検診	9.1%	平成 27年度	9.6%	平成 30年度	50.0%以上 (令和5年度)
	肺がん検診	14.9%		8.3%		50.0%以上 (令和5年度)
	大腸がん検診	15.7%		8.4%		50.0%以上 (令和5年度)
	子宮頸がん検診	29.2%		17.7%		50.0%以上 (令和5年度)
	乳がん検診	26.5%		15.0%		50.0%以上 (令和5年度)
がん検診受診率向上に取組み、その効果判定を行っている市町村数の増加	—	12市町村	平成 24年	39市町村	令和 2年	54市町村(全市町村) (100%)

② 循環器疾患

【指標数:15】

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)-男女	男性	47.1	平成 22年	34.2	平成 27年	38.0以下
	女性	26.9		20.7		24.0以下
虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)-男女	男性	33.5	平成 22年	26.3	平成 27年	26.0以下
	女性	15.4		11.6		13.0以下
収縮期血圧の平均値の低下(40~74歳、服薬者含む)-男女	男性	127mmHg	平成 22年度	—		123mmHg以下
	女性	123mmHg		—		119mmHg以下
中性脂肪150mg/dl以上の者の割合の減少(40~74歳、服薬者含む)-男女	男性	30.3%	平成 22年度	—		23.0%以下
	女性	15.0%		—		11.0%以下
LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合の減少(40~74歳、服薬者含む)-男女	男性	12.0%	平成 22年度	—		9.0%以下
	女性	13.2%		—		10.0%以下

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(特定保健指導対象者の減少率)	—	約801,700人	平成 20年度	(20年度と比べて) 17.2%減少	令和 元年度	(20年度と比べて) 25.0%以上減少 (令和5年度)
特定健康診査の実施率の向上	—	45.9%	平成 22年度	57.2%	令和 元年度	70.0%以上 (令和5年度)
特定保健指導の実施率の向上	—	11.4%	平成 22年度	25.8%	令和 元年度	45.0%以上 (令和5年度)
定期的な家庭で血圧を測定している者の割合の増加(65歳以上)	—	64.0%	平成 24年	63.9%	平成 28年	64.0%以上
特定健康診査実施率の向上のための取組とその効果判定を行っている市町村の増加	—	14市町村	平成 24年	44市町村	令和 2年	54市町村(全市町村) (100%)

③ 糖尿病

【指標数:11】

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少(10万人当たり)	—	12.2	平成 22年	11.5	令和 元年	11.0以下
糖尿病有病者の割合(HbA1c(NGSP値)6.5%以上)の減少(40~74歳)-男女、全体	男性	9.5%	平成 22年度	—		7.0%以下
	女性	5.6%		—		4.0%以下
	全体	7.7%		—		6.0%以下
治療継続者(HbA1c(NGSP値)6.5%以上)の者のうち、治療中の者の割合の増加(40~74歳)	—	48.0%	平成 21年度	55.7%	平成 26年度	75.0%以上
血糖コントロール指標不良者(HbA1c(NGSP値)8.4%以上)の割合の減少(40~74歳)	—	1.2%	平成 22年度	—		1.0%以下
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(特定保健指導対象者の減少率) 【再掲】	—	約801,700人	平成 20年度	(20年度と比べて) 17.2%減少	令和 元年度	(20年度と比べて) 25.0%以上減少 (令和5年度)
特定健康診査の実施率の向上 【再掲】	—	45.9%	平成 22年度	57.2%	令和 元年度	70.0%以上 (令和5年度)
特定保健指導の実施率の向上 【再掲】	—	11.4%	平成 22年度	25.8%	令和 元年度	45.0%以上 (令和5年度)
特定健康診査実施率の向上のための取組とその効果判定を行っている市町村の増加 【再掲】	—	14市町村	平成 24年	44市町村	令和 2年	54市町村(全市町村) (100%)
糖尿病性腎症重症化予防の取組をしている市町村数の増加	—	30市町村	平成 29年度	51市町村	令和 2年度	54市町村(全市町村) (100%)

④ COPD(慢性閉塞性肺疾患)

【指標数:4】

指標	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
問診票等を導入している医療保険者数の増加(平成26年度:問診票として「COPD-PS」を導入している医療保険者の増加)	3.2%	平成24年度	4.9%	平成29年度	80.0%以上
COPDの認知度	39.2%	平成24年	26.5%	平成28年	80.0%以上
COPDの知識普及のための取組を行っている市町村数の増加	14市町村	平成24年	31市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)
クリティカルパス等を活用した病院・診療所の連携施設数の増加(平成26年度:NPO法人愛知県COPDネットワークが提供する「愛知県COPD連携手帳」等を活用した病院・診療所の数)	0施設	平成26年度	318施設	平成29年度	500施設以上

⑤ 歯科疾患

【指標数:6】

指標	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
80歳(75~84歳)の咀嚼良好者の割合の増加	54.2%	平成21年	82.5%	平成28年	85.0%以上
80歳(75~84歳)で20本以上自分の歯を有する者の割合の増加	40.7%	平成24年	49.8%	平成28年	50.0%以上
3歳児のう蝕のない者の割合の増加	86.3%	平成23年度	92.2%	令和元年度	95.0%以上
12歳児のう蝕のない者の割合の増加	67.6%	平成23年度	80.6%	令和元年度	77.0%以上
歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少(14歳)	10.5%	平成23年度	6.8%	令和元年度	5.0%以下
歯周炎を有する者の割合の減少(40歳)	27.4%	平成23年度	49.5%	令和元年度	20.0%以下

(Ⅲ) 生活習慣の見直し

① 栄養・食生活

【指標数:17】

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
20~60歳代男性の肥満者の割合の減少(BMI25以上)	—	24.2%	平成24年	27.9%	平成28年	21.0%以下
40~60歳代女性の肥満者の割合の減少(BMI25以上)	—	13.3%	平成24年	19.8%	平成28年	10.0%以下
小学校5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合の減少-男女	男子	3.2%	平成23年度	4.0%	令和元年度	3.2%以下
	女子	1.4%		4.4%		1.4%以下
20~30歳代女性のやせの者の割合の減少(BMI18.5未満)	—	21.7%	平成24年	21.5%	平成28年	15.0%以下
全出生数中の低出生体重児の割合の減少	—	9.6%	平成23年	9.7%	令和元年	9.6%以下
低栄養傾向高齢者の割合の増加の抑制(BMI20以下)	—	19.9%	平成24年	20.8%	平成28年	19.9%以下
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	—	62.1%	平成24年	60.3%	平成28年	80.0%以上
朝食を欠食する者の割合の減少(3歳児)	—	5.7%	平成23年度	5.7%	令和元年度	0%
朝食を欠食する者の割合の減少(16~19歳)	—	8.5%	平成24年	7.3%	平成28年	5.0%以下(令和2年度)

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
1日当たりの食塩摂取量の減少	—	10.6g	平成20~23年	9.7g	平成28~令和元年	8g未満
1日当たりの野菜摂取量の増加	—	273g	平成20~23年	252g	平成28~令和元年	350g以上
1日当たりの果物摂取量100g未満の者の割合の減少	—	55.6%	平成20~23年	62.1%	平成28~令和元年	30.0%以下
適正体重を認識し、定期的に体重を測定している者の割合の増加	—	73.4%	平成24年	70.8%	平成28年	80.0%以上
食生活改善推進員の養成数の増加	—	8,651人	平成23年	10,807人	令和元年	12,000人以上
食生活改善のためのボランティアの養成・活用が十分できている市町村数の増加	—	32市町村	平成24年	43市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)
食育推進協力店登録数の増加	—	2,332件	平成24年3月末	3,088件	令和3年3月末	3,300件以上

② 身体活動・運動

【指標数:14】

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
1日の歩数(20~64歳)-男女	男性	8,012歩	平成20~23年	8,562歩	平成28~令和元年	9,500歩以上
	女性	7,224歩		6,245歩		8,500歩以上
1日の歩数(65歳以上)-男女	男性	5,563歩	平成20~23年	5,690歩	平成28~令和元年	7,000歩以上
	女性	4,387歩		5,120歩		6,000歩以上
運動習慣者の割合の増加(20~64歳)-男女	男性	24.9%	平成24年	27.4%	平成28年	31.0%以上
	女性	20.4%		23.5%		27.0%以上
運動習慣者の割合の増加(65歳以上)-男女	男性	46.8%	平成24年	50.8%	平成28年	56.0%以上
	女性	43.4%		45.8%		54.0%以上
日頃、歩数計をつけている者の割合の増加	—	24.2%	平成24年	30.0%	平成28年	40.0%以上
ロコモティブシンドロームを認知している者の割合の増加(20歳以上)	—	18.6%	平成24年	36.2%	平成28年	80.0%以上
足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(千人当たり)	男性	207人	平成22年	—		190人以下
	女性	290人		—		260人以下
「健康づくりリーダー」の養成数の増加	—	2,231人	平成23年度末	3,027人	令和2年度末	3,200人以上
運動習慣改善に関する指導者の活用ができている市町村数の増加	—	47市町村	平成28年	41市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)

③ 休養・こころの健康

【指標数:9】

指標	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
こころの状態に関する6項目の質問(K6)において10点以上の者の割合の減少	14.2%	平成24年	13.4%	平成28年	10.0%以下
睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少(20歳以上)	20.9%	平成24年	23.9%	平成28年	17.0%以下
午後10時以降に就寝する子どもの割合の減少(3歳児)	29.0%	平成23年度	23.2%	令和元年度	15.0%以下
強いストレスを感じている者の割合の減少	20.5%	平成24年	21.4%	平成28年	14.0%以下
ゆったりとした気分で子どもと接することができる者の割合の増加(3歳児健診)	73.6%	平成23年度	75.6%	令和元年度	80.0%以上
週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少	9.0%	平成24年	10.7%	平成28年	6.0%以下(令和2年度)
「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動の賛同事業所数(定時退社)」の増加	延べ10,162事業所	平成27年度	延べ5,711事業所	令和2年度	延べ12,000事業所/年度(令和2年度)
「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」登録数の増加	58社	平成26年度	77社	令和2年度	新規登録数60社増加/年度(令和2年度)
こころの悩みや病気に関する相談支援を行っている市町村数の増加	50市町村	平成24年	53市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)

④ 喫煙

【指標数:14】

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
成人の喫煙率の減少(20歳以上)ー男女	男性	28.4%	平成24年	26.1%	平成28年	17.0%以下
	女性	6.5%		6.4%		4.0%以下
妊娠中の喫煙率の減少	—	3.3%	平成23年度	1.9%	令和元年度	0%
16～19歳の喫煙をしている者の割合の減少ー男女	男性	6.5%	平成24年	5.6%	平成28年	0%
	女性	4.6%		0.8%		0%
子育て中の家庭における同居家族の喫煙者の割合の減少	父親	37.3%	平成28年度	30.6%	令和元年度	25.0%以下(令和6年度)
	母親	4.7%		4.2%		3.5%以下(令和6年度)
未成年者の喫煙防止対策に取り組んでいる市町村数の増加	—	25市町村	平成24年	32市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)
禁煙治療医療機関数の増加	—	881施設	平成24年10月末	977施設	令和2年12月末	1,150施設以上
禁煙サポート薬局数の増加	—	183か所	平成29年10月末	315か所	令和2年12月末	685か所以上
禁煙希望者の相談・支援を行っている市町村数の増加	—	35市町村	平成24年	51市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)
禁煙相談・支援方法の知識を有する者の増加	—	213名	平成23年度	1,759名	令和2年度	2,200名以上
受動喫煙防止対策実施認定施設数の増加→令和元年度で事業終了	—	7,959施設	平成24年10月末	9,959施設	令和元年3月末	13,000施設以上
受動喫煙防止対策に積極的に取り組んでいる市町村数の増加	—	34市町村	平成24年	49市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)

⑤ 飲酒

【指標数:7】

指標	男女等の別	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
生活習慣病のリスクを高める量(一日当たり純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上)を飲酒している者の割合の減少ー男女	男性	16.4%	平成24年	16.9%	平成28年	15.0%以下
	女性	3.6%		12.6%		3.0%以下
妊娠中の者の飲酒割合の減少	—	2.3%	平成23年度	0.4%	令和元年度	0%
16～19歳の飲酒をしている者の割合の減少ー男女	男性	16.3%	平成24年	12.8%	平成28年	0%
	女性	10.2%		7.4%		0%
未成年者の飲酒防止対策に取り組んでいる市町村数の増加	—	9市町村	平成24年	23市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)
妊娠中の飲酒防止対策に取り組んでいる市町村数の増加	—	47市町村	平成24年	52市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)

⑥ 歯・口腔の健康

【指標数:7】

指標	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
保護者による仕上げみがきがされていない幼児の割合の減少(1歳6か月児)	25.0%	平成22年度	4.6%	令和元年度	5.0%以下
給食後の歯みがきを実施している施設の割合の増加(中学校)	22.5%	平成23年度	19.1%	令和元年度	35.0%以上
年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加(30歳代)	38.3%	平成24年	45.6%	平成28年	55.0%以上
年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加(70歳代)	57.0%	平成24年	59.4%	平成28年	75.0%以上
フッ化物洗口を実施している施設の割合の増加(幼稚園、保育所、小学校、中学校)	25.1%	平成23年度	37.9%	令和元年度	40.0%以上
一人平均歯数が1.0本未満である市町村の増加(12歳児)	77.8%(42市町村)	平成23年度	100.0%(54市町村)	令和元年度	54市町村(全市町村)(100%)
歯周炎を有する者の割合が25%以下である市町村の増加(40歳)	50.0%(27市町村)	平成23年度	7.5%(4市町村)	令和元年度	54市町村(全市町村)(100%)

(Ⅳ) 社会で支える健康づくり

【指標数:5】

指標	ベースライン値	データ年次	直近値	データ年次	目標値
居住地域でお互いに助け合っていると思う者の割合の増加	47.5%	平成24年	43.8%	平成28年	63.0%以上
ボランティア活動、地域活動に主体的に関わっている者の増加	25.8%	平成24年	22.6%	平成28年	30.0%以上
市町村健康増進計画を策定している市町村数	54市町村	平成24年	54市町村(53市町村改訂済み、1町継続中)	令和2年	54市町村(改訂・継続100%)
健康格差の把握に努める市町村数の増加	12市町村	平成24年	37市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)
企業・団体等と連携した取組を実施している市町村数の増加	39市町村	平成24年	46市町村	令和2年	54市町村(全市町村)(100%)